茨城県議会議員 とこい洋治 県政報告

2026(R.8).2.15

Vol.117

笑顔大好き

EGAO DA～ISUKI

発行者：常井洋治
〒319-0205 笠間市押辺1745
TEL.0299-45-6818
FAX.0299-45-0818

▲筑波海軍航空隊の旧指令部庁舎の北側の草むらに戦後80年間埋もれていた地下無線室跡を、県、市、同航空隊記念館の皆様が、発見、発掘して、見学できるようにしてくれました。是非、ご覧ください。（令和7年11月26日）

── 燃える郷土愛。全力投球!! ──

筑波海軍航空隊の地下無線室跡を発掘

皆様には、常日頃から私の政治活動に対し、温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、筑波海軍航空隊の旧司令部庁舎の北側に地下無線室跡があったことが判明し、同航空隊記念館の金沢大介館長、県、市が一緒になって発掘し、披露、公開されることになりました。遺構の場所は、同航空隊記念館北側広場として整備され、オープニングセレモニーが行われました。私は、あいさつの中で「よくぞ発掘してくださった」と感謝の言葉を述べました。

この壕は、戦況が厳しくなる中で、地域住民の手伝いも受けて、手作業で作ったと言われています。私は、旧司令部庁舎の保存に長く関わってきましたが、草が生い茂る場所の下にまさかこんな遺構があるとは、思いも寄りませんでした。こころの医療センター改築時（東日本大震災の1カ月前に完成）に、建物の中に同航空隊関係者の遺品等を展示する部屋を確保したことに始まり、約1万3,000人の署名を集めて実現した旧指令部庁舎の保存、「永遠のゼロ」の撮影、同航空隊記念館の開設を経て、今回の発掘に至りました。多くの関係者の皆様のご尽力に改めて深く感謝しております。

昨年には、戦後80年を迎えましたが、私は、日本の新たな「戦前」にならないよう、この場所で誰もが戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識していただきたいと思います。

また、あいさつの最後には、同航空隊友の会の事務局長として長くご活躍された南秀利先生を中心に、同航空隊の歴史を書籍化していただけますようお願いしました。次世代につなぐための書籍化の実現に向けて、微力ながら、お手伝いをしてまいりたいと思います。

皆様には、引き続き、絶大なるご指南をお願い申し上げます。

茨城県議会議員
常井洋治

一緒に創ろう！ふるさと笠間市・茨城県の輝く新時代

令和7年県議会第4回定例会を終えて

（令和7年11月28日～12月15日、18日間）

令和７年第４回定例会は、11月28日から12月15日までの18日間開かれ、令和7年度補正予算など60件の議案が可決、同意、認定、承認、採択されました。

令和7年度12月県一般会計補正予算を可決

◎補正予算　207億99百万円
◎補正後予算　1兆2,973億11百万円

主な事業

(1)医療・介護等支援パッケージ関連事業

- 医療機関賃上げ等支援事業　1,342百万円
- 介護事業所賃上げ等支援事業　4,096百万円
- 介護事業所等サービス継続支援事業　520百万円
- 介護施設等食材料費高騰対策緊急支援事業　466百万円
- 障害福祉事業所賃上げ支援事業　1,138百万円

(2)重点支援地方交付金を活用した生活者・事業者への支援

- 低所得の子育て世帯生活応援特別給付金事業　2,904百万円
- ＬＰガス料金負担軽減支援事業　692百万円
- 特別高圧受電施設等電気料金支援事業　182百万円

(3)その他

- 職員の給与改定に要する経費　9,459百万円

令和7年第4回定例県議会（R7.11.28～12.15）保健福祉医療委員会質疑要約（R7.12.9）

●新病院の質の向上の検討とアクセス道路整備は、同時並行で進めるべきだ
●中央病院のがんデイケアサロンと産科体制の一層の充実を
●幼児教育・保育施設の給食無償化への検討を

【病院局・保健医療部】

水戸保健医療圏の病院再編について

常井委員（中央病院とこども病院の統合など、水戸保健医療圏（二次保健医療圏）の既存病院の）再編の理由として、老朽化や、機能分化の連携が進まないこと、そして、医師の働き方改革により、筑波大学からの医師の派遣が、再編をしないと滞るというようなことが提示された。しかし、私は、国策として、次の地域医療構想が始まる2027年度までに11万床減らすという方針が背景にあったのではないかと思う。新病院については、経営の健全性、持続性を考慮しつつ、規模と診療の質を考えていかなければならない。また、既に病院患者はピークを過ぎていると言われる中で、患者に来てもらわなければ、経営も成り立たなくなる。現在の中央病院は、笠間市民が4割を利用しているのだから、そのような患者が移転した新病院を利用しやすくするためには、まずはアクセスの良い道路が10年後の開院までに、できていなければならない。（私の意見を受けて）病院局が、土木部、保健医療部、笠間市、水戸市と会合を開いてくれたが、病院再編の担当部として、保健医療部がリードして取り組んでもらいたい。

丸山保健医療部長 今まで中央病院に通っていただいている4割の笠間市民の方も、こども病院に通われている方も、今受けている医療の連続性が途切れることがないように、医療関係者は意識して取り組んでいる。公的4病院を含め、水戸保健医療圏及び県央・県北を支える医療体制をどう取ることが県民の医療確保につながるかを、一丁目一番地として議論を進めた上で、アクセス道路を確保していくというフェーズ（局面）に移っていく。それ自体は私も忘れていないし、皆、意識して議論を進めてまいりたい。

常井委員 現在、中央病院にかかっている方が、スムーズに新病院に行けるようなアクセス道路の構想を持って、利用しやすい道路体系をつくっていくのは、非常に重要だと思っている。（新病院の建築と）同時並行でやっていくしかない。病院局だけでなく、保健医療部がむしろリードしながらやってもらいたいというのが、私の意見なのでよろしくお願いしたい。

常井委員 中央病院の※がんデイケアサロンの利用状況はどうか。

※がん患者や家族が治療中も安心して過ごせる居場所。看護師などに悩み相談ができ、孤独感の解消やリフレッシュができる。

島居中央病院長 がんデイケアサロンは、新型コロナウイルス感染症の影響により休止していたが、令和7年5月から再開をしており、11月までに7回開催し、延べ28名が参加された。ご家族や患者本人のメンタルケアなどを行っており、家族には話しにくいことも話せる、患者同士の交流により気が楽になったなどの声もあり、満足を頂いているところだ。

常井委員 以前は週に何回か実施していたはず。人数は徐々に増えていく可能性があるので、（開催回数を増やすことを）検討すべきではないか。

島居中央病院長 コロナ以前は、毎週水曜日に週1回実施していたが、現在は月1回第3火曜日に実施している。現在は各回3～6名の参加となっており、今後、参加者の状況を見ながら検討していく。

常井委員 笠間市内の病院がお産を取りやめたため、中央病院の産科を再開しておいてよかったと感じている。現

在の中央病院の分べん数はどのくらいか。

島居中央病院長 2015年に再開し、コロナ禍は200件前後で推移してきたが、今年度は約400件となる見込み。

常井委員 分べん台は再開した当時のままの台数であり、機材が不足しているのではないか。

軸屋病院事業管理者 必要な機器の整備は前に進めるべきと考えている。国の方向性として、分べんが保険適用になる可能性があり、収益が減少することもあるため、その点も勘案しながらバランスを取って前に進めていきたい。

【保健医療部】

常井委員 全国で1割くらいの看護専門学校が、募集を停止しているとの報道があった。茨城県の状況は。

渡邉医療人材課長 茨城県でも2校が募集停止となる。今年度から東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校が、来年度からは土浦市医師会附属准看護学院が募集を停止する。

常井委員 看護師を確保するためには、幼少期から看護師の仕事を身近に感じてもらうため、幼稚園・こども園に配置された看護師の仕事に、こども達が興味を持つような施策が必要ではないか。

渡邉医療人材課長 より小さい時期から看護師の魅力に触れ、興味を持ってもらえるよう、施策について研究していきたい。

【福祉部】

常井委員 いばらき保育人材バンク事業の実績は。

長島子ども政策局長 登録者数は令和7年10月時点で4,802人。就職件数については、令和5年度は152件、令和6年度は173件と、年々伸びている。若年層に対し、保育施設ツアーや就職相談会などを実施するほか、潜在保育士に対し、お試し保育の実施やPRイベントなどを実施し、保育士確保に取り組んでいる。

保健福祉医療委員会の県内調査で、筑波大学附属病院の平松祐司病院長（左手前）との意見交換の様子（R7年11月12日）

常井委員 国において学校給食の無償化が行われる一方、幼児教育・保育施設の無償化は対象外とされているが、県の考えは。

菊地子ども未来課長 幼児教育・保育施設の給食無償化については、昨年度も（常井委員から）提言を受けており、県も重要と考え、今年度中央要望を行ったが、今後も国へ要望を続けていく。

常井委員 幼児教育・保育施設の給食無償化についての声が高まっていない。幼児期からの食育といった観点もあるので、県で（独自の）施策を打つという手もあるが、県の考えはどうか。

菊地子ども未来課長 物価高騰の影響もあり、給食の提供についても厳しい状況にあることは認識しているので、今後も国に強く要望していきたい。

常井委員 国への要望だけでなく、県としても何か取り組んでほしい。

TOPIC① 県立中央看護専門学校の看護学科が4年制へ移行

令和8年4月 県立看護大学校として開校

定　　員：40名
応　　募：一般入学試験 78名（一次：令和７年12月6日、二次：令和７年12月22日）
　　推薦入学試験 60名（県内高校35校から）（令和７年10月17日）
合 格 者 数：44名（一般入学24名、推薦入学20名）※辞退者を考慮し定員より多く合格
移行の概要：高齢化の進展や社会ニーズの変化に対応できる、幅広い知識や高度な実践力を持つ看護師を安定的に育成することを目的とするもの。

とこい洋治が見つけた地元の元気！

▲第118回日展で2回目の特選を受賞した陶芸家、井上英基先生（笠間市土師在住）と受賞式にて。（R7年12月）

▲片山さつき財務大臣と水戸でのセミナーにて。（R7年12月）

▲笠間市の新年会にて、地元選出県議会議員として、あいさつ。（R8年1月）

▲笠間市消防出初式にて。二十歳の集いで代表として誓いの言葉を述べた消防士のご一家と。（R8年1月）

TOPIC② 完成した上曽（うわそ）トンネルと 頓挫した道祖神峠（どうそじん）トンネル

[両トンネルは、いずれも40数年に及ぶ地域の課題であったが、地元市（長）の取り組み方によって明暗を分けた。]

上曽トンネル

供用開始：令和７年９月27日

総延長（桜川市真壁町～石岡市上曽）：5.58km（うちトンネル3.54km）

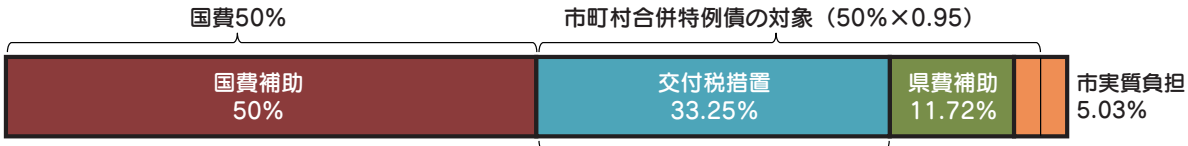
全体事業費：145億円

工期：平成30年度～令和７年度

※合併特例債を活用した市事業として進めた

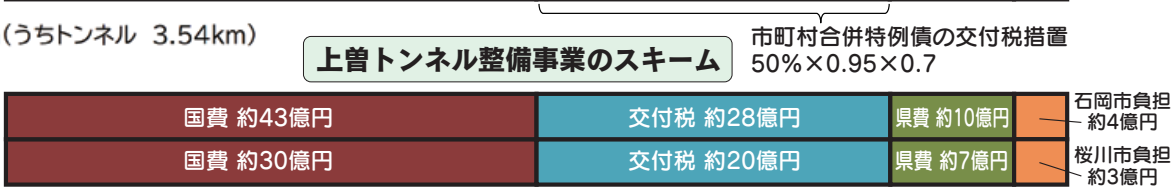
◀完成した上曽トンネル。通行量（12時間：7時～19時）は、完成の前後で、約1,400台から約5,400台となり、約4,000台増加した。

合併特例債活用事業の基本スキーム



上曽トンネル整備事業のスキーム

総延長 5.58km(うちトンネル 3.54km)
全体 145億円

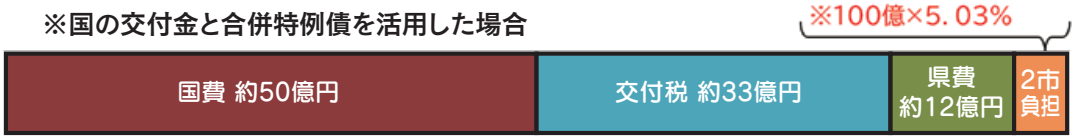


道祖神峠トンネル

県道つくば笠間線の吾国山道祖神峠の下を想定したトンネル。つくば－土浦－石岡（県フラワーパーク）－道祖神峠トンネル－北関道笠間PA（計画）をつなぐ幹線道路の重要区間となる。

<上曽トンネルの事業スキームを活用し、全体事業費100億円を想定した場合の費用負担イメージ>

※国の交付金と合併特例債を活用した場合



※**「合併特例債」**とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として借り入れることができる地方債のことである。事業費の充当率95%まで借り入れが可能で、償還時に70%の交付税措置がされる、市町村にとって特に有利な起債である。笠間市に約322億円の枠が認められた。上記スキームで、笠間市は、石岡市と費用折半を仮定した場合、そのうち、約25億円の起債枠を活用し、一般財源約2.5億円を拠出すれば、約100億円のトンネル事業ができることになる。利用期限は、当初平成27年度までであったが、東日本大震災の被災地である笠間市は、特例として令和12年度まで延長された。土浦市と石岡市を結ぶ朝日トンネル（総延長3,660m、うちトンネル1,784m）も合併特例債を活用して完成し、1日1万台を超える通行量となっている。また、常陸太田市と日立市を結ぶ真弓トンネル（総延長5,480m、うちトンネル2,084m）も合併特例債事業として施工中である。

常井洋治コメント

上曽トンネルは、合併特例債を活用した市の事業として位置付けたことにより、地元市の負担が少なく完成しました。道祖神峠トンネルも同じ手法で施行することが最良の方法でしたが、**笠間市（長）が県に対して、道祖神峠トンネルのためには、合併特例債を利用しない方針を示した（令和３年２月）ため、実現は頓挫してしまいました。**

笠間市発展の起爆剤となり、笠間市民にとって、つくば方面への通勤、通学、買い物の日常生活や、観光、物流、災害避難など、多面的に重要な道路（トンネル）として整備したいと、私は強く訴え、県や市に働きかけてきましたが、笠間市（長）の対応によって、千載一遇のチャンスを逃してしまったのです。無念の極みであります。朝日トンネルや上曽トンネルを利用された方は、その利便性をよく分かっていただいていると思います。道祖神峠トンネル無くして、**笠間市、とりわけ笠間地区の発展は望めず、停滞、後退は免れません。**現道は、これからも、不便な峠越えや冬期凍結による通行止を余儀なくされてしまいます。

私は、今後も諦めることなく、関係者の協力を得ながら、「いばらき自民党道祖神峠トンネル整備促進期成同盟」の会長として、県議同志と協力して実現を目指して進めてまいります。

HPアドレス●https://tokoiy.jp/をぜひご覧ください。
フェイスブックもどうぞご覧ください。皆様のご意見をお待ちしています。

ホームページ　フェイスブック